

留学報告書 II (2022 年度小 5 コース留学生)

塾内在籍校・学年(派遣時)	慶應義塾幼稚舎 5年
留学先校名	Dragon School
留学期間	2022年 9月から 2023年 7月まで

留学を振り返って

留学先では、期待どおりの生活を過ごせましたか？（留学先の良かった点・悪かった点も教えてください。）

僕にとって、初めての海外生活であり、初めて家族と離れた寮生活で、当初不安もありました。しかし自然に囲まれたオックスフォードの素晴らしい環境のもと、様々な国の友人との日々は大変楽しく、期待以上の生活を送る事が出来ました。Dragon School は、幼稚舎同様、僕の大切な母校であると感じています。

【良かった点】

● 学校生活（マイノリティについての学び）

初授業では「日本人だから珍しい」という視線を受け、マイノリティという立場に自分が身を置く経験は初めてだったので緊張しました。しかしクラスメイトが「僕達のグループ入る？」と言ってくれた事をきっかけに、自分でも皆に積極的に声を掛け輪が広がって仲良くなれました。「マイノリティ」という立場になる事は、少数派の人の気持ちを理解し、相手を思いやれるようになる事、そしてより良いサポートが出来るようになる事だと思います。

また今年の6月の1ヶ月間、Dragon School の旗は虹色をしていました。これは「性的マイノリティを受け入れて、助ける」という意味である事、そして「LGBTQ+」の中の「LGBT」について学校の授業で詳しく習いました。Dragon School では、性的マイノリティの友人達は周囲に公表しており、皆が自然な事として受け入れています。僕は、留学するまで性的マイノリティについて詳しくは知らず、日本では僕の同年代で周囲に公表している人は知りません。僕は日本での自分の常識が、世界の当たり前ではない事を知る事が出来ました。また国籍や性別など様々なマイノリティの人と出会い、日本とは違う色々な文化や考え方を学ぶ事が出来ました。

● 教育（探究学習）

イギリスの教育は、皆がのびのびと好きな事を自由に探求している印象を受けました。イギリスの友人達は塾などへ行っている人は居ないのに、皆大変優秀です。そして授業でも僕が思いもしないような色々な意見が沢山出てきます。理由としては「やらされている」のではなく、「興味のある事に自主的に取り組んでいる」から、楽しんで学んでおり、知識がどんどん身についていくのだと思います。僕自身もこの教育方針が大変好きで、イギリスの教育の良い点だと思います。

● 友人（チャリティー活動や自然保護・環境問題への意識）

イギリス人の友人のお誕生日会に招待された際、「プレゼントは不要なので、もし僕の立ち上げた環境保護基金に賛同してくれるなら寄付してくれたら嬉しい」と言われ、僕は大変驚きました。彼は以前にも、学校のイベントで手作りのケーキを販売し、売り上げは全て募金しており、今回も一年かけて自分が行いたい自然保護や環境問題について考え、現在活動を行っているとの事でした。誕生日プレゼントは品物や手紙が一般的である日本で育った僕は、友人のそのような考えを知り、改めて大変尊敬しました。イギリスは日本より、寄付活動も盛んに行われており、Dragon School でも学校のクリスマスのイベントでは、

生徒が自分で考えた好きなお店を出店し、売上金を全て寄付金としています。また僕が出場した水泳大会やトライアスロン大会でも寄付活動が行われていました。これは色々な社会問題や社会的弱者について考える事にも繋がり、大変良い点だと思いました。

クラブ活動や課外活動など、勉強以外の活動について教えてください。

【参加したアクティビティ】

ポロ・ゴルフ・エアライフル・クレイライフル・セーリング・フェンシング・チェス・クリケット・プログラミング・中国語・ランニング・水泳（先生からの推薦）・合唱（自主参加）他

● ラグビー

Dragon School では Autumn Term のシーズンスポーツがラグビーで、ラグビーを通して絆が深まり、言葉の壁を超えて友人と打ち解ける事ができました。チームのキャプテンもさせていただき、2022 年の Most Improved Player 賞を受賞。2023 年度の選抜チームの強化選手にも選出され大変嬉しかったです。

● 水泳

Dragon School の先生の推薦を受け、学校の選抜チームに入り、大会では準々決勝まで勝ち残りました。

● フェンシング

フェンシングは初体験でしたが、習ううちに、間合いの取り方が、僕が日本で続けていた空手の間合いの取り方に似ている事に気づき、楽しみながら 1 年間継続し、イギリス生活で 1 つの自信となりました。

【参加した課外活動】

スイススキー合宿・フランス研修旅行・トライアスロン大会・合唱サークル・学校外キャンプ（8 日間）

勉強について

各授業の内容・進め方・宿題・テストについて、日本との比較に触れながら記入してください。

◆Autumn Term(1 学期)・・・成績表：有。各教科の先生と寮長先生からのフィードバックの記載有。

◆Spring Term(2 学期)・・・成績表：無。各教科の先生（14 名）と親の面談有。各教科の先生が詳細なアドバイスを下さいますので、次学期に気を付ける点がよくわかります。

◆Summer Term(3 学期)・・・成績表：有。各教科の先生と寮長先生からのフィードバックの記載有。

【印象的だった授業】

● ラテン語・フランス語

日本の小学校では習わない授業です。最初はどちらも全く理解出来ませんでしたが、単語を覚えた事により、理解が進み楽しくなりました。フランス語は、学校のフランス研修旅行に行った際も役に立ち、言葉が通じたり、会話が聞き取れたり、街で理解出来る単語を見かけた際は嬉しくなり、さらに学びたい意欲が増しました。ラテン語は最終的には大好きな授業の 1 つになりました。ラテン語は言語のもとになった言葉なので、機会を作って再び学びたいと思っています。

● 哲学・宗教 (F P E)

日本にはない授業です。Autumn Term(1 学期)は人間の考え方や心の奥底に触れる授業で、答えはなく大変難しかったです。例えば「列車のブレーキが故障し止められません。右の道には 5 人、左の道には 1 人居て、どちらを犠牲にしますか？」といった問いに、皆で色々な意見を出し話し合います。どれを選んでも辛い選択ですが、様々な意見を聞き、深く考える大変勉強になる授業でした。Spring Term (2 学期)は「人の平等」で、ガンジーやキング牧師について学び、Summer Term(3 学期)は「宗教」を学びました。

● 算数 (Maths)

授業は、早いペースの人にはその単元内のプリントが渡されどんどん難解問題へ進んでいきます。日本では中学数学の範囲（例えば√の平方根を使った式）を、低学年の授業から習っているようで、最初戸惑いました。Math コンテストでは、成績優秀者に贈られる GOLD 賞を受賞し、最終学期には 2 学年上の Math コンテストを受験し、賞を獲得出来嬉しかったです。

● 担任の先生のお話 (Registration)

先生が「Life Vest」というビデオを見せてくれました。「他人を思いやる行いが、巡り巡って自分に返ってくる」という事を学び、その日 1 日温かい気持ちになりました。今後も大切にしたいと思っています。

今後の派遣留学生へのアドバイス

① 現地の会話の速さに耳を慣らすこと

僕は海外で生活した事がなかったので、イギリスに来てまず思ったことは、日常会話が想像以上に速かった事です。留学が決まったら、イギリスの映画や TV 番組、イギリスのラジオやニュースなどを聞いて、現地の言葉の速さに耳を慣らしておくこと、現地で生活をスタートさせた際、順応がスムーズに出来ると思います。（でも生活していく内に、自然と耳も慣れてくるので、留学前に聞き取れないままでも問題ないです。）

② 好きな事にとことん打ち込むこと

僕の場合、日本で好きで続けていたラグビーや水泳・空手が、イギリス生活で友人の輪を広げる手助けをしてくれました。「芸は身を助ける」という言葉がありますが、イギリスで僕はそれを実感しました。何が助けになるかは、人それぞれだと思います。好きな事や打ち込んできた経験は、上手下手の程度を問わず、友達と語り合ったり親交を深めるには大変有効です。渡英前はとことん好きな事に打ち込んでおく事をお勧めします。

以上

